

## 大阪市の骨抜き条例

# 勝手に決めんといて 中身も、やり方も、市民無視!!

住民投票で決着ついたやん!! かつた費用は 58 億円

昨年コロナ危機のなか強行された 11 月 1 日の住民投票で、「大阪市は残す。廃止しない」、と大阪市民は決めました。その結論をひっくり返す「広域行政一元化条例」を、議会で決めようとしているのが、維新の会です。3 月の議会で提出し、4 月に開始しようというのですから、あんなに住民を振り回した住民投票がまるでなかったかのようです。



え、いつの間に  
パブリックコメント募集は、わずか4日

住民の声を聞き、反映させることを目的に実施されるパブリックコメント。今回の条例案が発表されたのは2月17日、締め切りはその4日後の2月20日です。しかも郵送の場合は19日必着で、発表された翌日投函でも間に合いません。

「大阪府・市のあり方や大阪市の主権にかかわる重大な条例案を、これほど拙速に進めることは市民の信頼を損なう。大幅に期間延長を求める」(共産党・山中市議)と、日本共産党や私たち大阪市をよくする会がパブリックコメント期間の延期を求めましたが、締め切られました。

いま、やることはコロナ対策です!

新規感染者は、第3波のピーク時よりは落ち着き、ワクチン接種もようやく始まりました。新型コロナの影響で、大阪市の税収が大幅に減り、支出が増えることは必至です。こんな大変なときにカジノの誘致・大型開発を府・市一体でをすすめる条例をつくるのではなく、真面目に住民の困難に向き合うべきです。



「広域行政一元化条例案の撤回、新型コロナ対策の抜本的強化を!」  
2月19日の「明るい民主大阪府政を作る会」「大阪市をよくする会」合同の記者会見